



労働千葉

国鉄千葉労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (DC会館)

(鉄電) 043(222)7207番

(公) 043(222)7207番

FAX 043(224)7197番

2001.1.9 No. 5250

1・20 車両技術分科定期委員会に結集を 外注化阻止の総決起体制を築こう

「第二」の分割・民営化 攻撃はね返そう！

JR東日本が「中期経営構想」したことにより、「ニューフロンティア21」を発表や検修・構内業務、設備関係業務の全面的な外注化攻撃のもつ意味は、これまで以上に明確なものとなつた。

JR東日本は、「完全民営化」を契機に、グループ企業を含む全面的な大再編一大リストラに突っ走ろうとしているが、その計画全体の中心をなすのが鉄道業務の全面的な外注化と「ニア制度」なのである。

根本的転換！

一九九五年、日経連は「規制緩和」「構造改革」が熱病のように喧伝される状況のなかで、「新時代の日本の経営」と題する報告を発表し、これまでの日本的な雇用・賃金制度の破壊、労働組合破壊を骨格とした資本攻勢の基本路線を提起した。以降、大リストラや、労働者のあらゆる権利を徹底して破壊する攻撃が労働者を襲っている。

JR東日本の「ニューフロンティア21」は、この日経連路線のJR版と言うべきものである。これは、鉄道会社としてのこれ

までのあり方を根本的に転換させようとする「第二」の分割・民営化攻撃に他ならない。

JR東日本はこの経営構想の最後に、「(この改革は)当然困難や痛みを伴うが、企業が生き残り、社員と家族の幸福を実現する唯一の手段」と書いていた。これが労働者にとって、とは犠牲となることを覚悟せよと言うのである。

大リストラ計画

ニューフロンティア21で提起されている内容は、何よりも第一に、JR東日本本体の大合理化、大リストラだ。

① 二〇〇五年までに社員数を一万人削減することが打ちだされ、さらには、②「人事・賃金制度の見直し」「雇用形態の多様化」「出向先基準の導入」等人事・賃金制度全般の見直しや、③「IT活用による大胆な効率化の推進」、④「地域輸送においては大胆なスリム化を図る」「地方ローカル線は輸送システム全体を抜本的に見なおす」等、全面的なリストラが提起さ

れている。

しかも、一万人の要員削減が

せようとする「第二」の分割・民営化攻撃に他ならない。

JR東日本はこの経営構想の

最後に、「(この改革は)当然困難や痛みを伴うが、企業が生き

てつもなく苛酷なものになるこ

と認め、企業が生き残るために

は犠牲となることを覚悟せよと

言うのである。

グループ企業 全体の大再編

さらにニューフロンティア21は、「グローバルスタンダードに基づいた連結決算時代の到来」をテコとしたグループ企業全体の大再編攻撃を宣言している。

構想には、「グループ会社の再編成を大胆に実施する」「不採算部門からの撤退を迅速に決断する」「業務運営コストの徹底的な縮減」「グループ各社に業績評価基準を設定する」等の

歌劇な言葉が山のように並べられている。どれもが、要するに労働者の権利や賃金、雇用、労働条件の徹底した切り下げに直結するものだ。関連企業に働く強食の世界に叩き込んで、大再編、大リストラを強行しようとするのである。

人心の荒廃！

こうした大リストラを宣言する一方で、ニューフロンティア

21には、「過信が芽生えている

「国鉄改革の原点を再認識せよ」「プロとしての自覚をもて」「

東日本グループの好感度が低下している」「意識改革を徹底せよ」「倫理感を醸成せよ」等、どうしようもないほど人心が荒廃してしまっていることが随所に指摘されている。

実際これこそがJR東日本の

14年が生みだしたものなのだ。

その最大の原因是言うまでもなく革マルと結託して不当労働行為の限りを尽くす労務政策があつた。JR総連・革マルと手

を結んで、安全も業務の遂行も

そっちのけで、動労千葉や国労

もいとう驚くべき発想なのだ。

14年が生みだしたものなのだ。

その最大の原因是言うまでもなく革マルと結託して不当労働

行為の限りを尽くす労務政策があつた。JR総連・革マルと手

を結んで、安全も業務の遂行も

そっちのけで、動労千葉や国労

もいとう驚くべき発想なのだ。

車両技術分科会 第12回定期委員会

▼ 1月20日(土) 13時
▼ D C 会館

検修関係組合員
の全力結集を！

大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉を創りあげよう！